

～どこまでも広がる 未来のまちを創造する～「Kyotango Sea Labo」開催！

京丹後市の未来を一緒にデザインしたい中高生と 中高生をサポートする大学生・大学院生を募集

令和7年5月16日
京丹後市教育委員会

京丹後市教育委員会では、令和4年度から6年度までスタンフォード大学（アメリカ）、トロント大学（カナダ）の現役研究者が設立した一般社団法人スカイラボ（※1）と連携し、京丹後市の中高生にカスタマイズした、実証に基づくプログラムの開発を行いました。

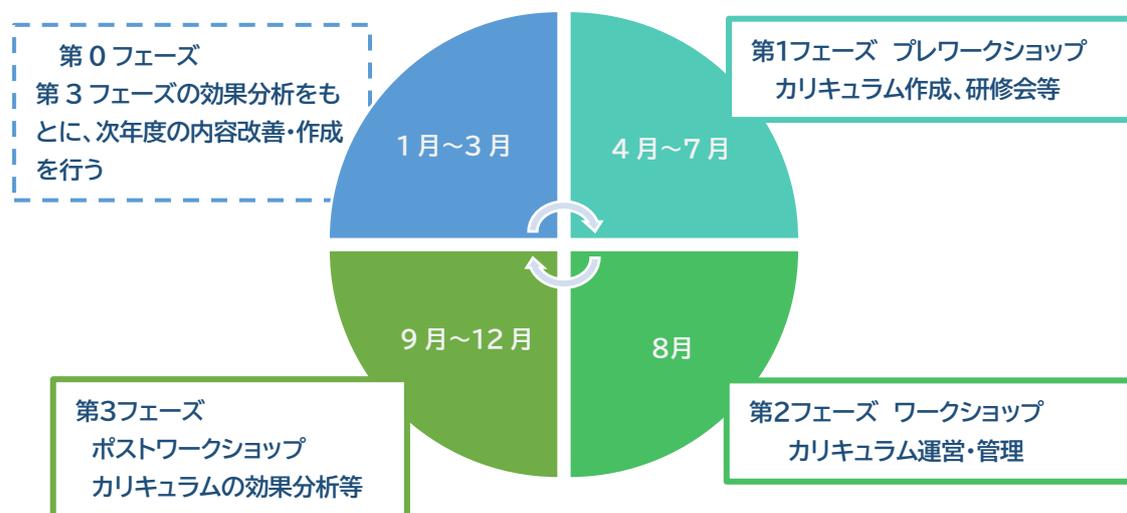
今年度は京丹後市教育委員会主導で、一般社団法人スカイラボの支援のもと上記プログラムを運営し、「国際感覚を持ち、グローバル社会で活躍できるイノベティブなリーダー人材を育てる」ことを目指し、8月にワークショップを開催します。

あわせて、本ワークショップに参加する中高生及び中高生をサポートする、英語と日本語の両方で中高生の学びをサポートできる現役の大学生・大学院生を募集します。

1. プログラムの概要

本プログラムは、「デザイン思考」※2、「STEAM教育」※3、「SDGs」の融合プログラムです。「SDGs」を課題の切り口に、「デザイン思考」を用いて、解がひとつで前例のない課題に斬新な発想に対する最適な解決を図るための思考法を学び、STEM（※3）分野の知識や面白さ能力に興味を持ち発想する楽しさに触れることで、今まで気づかなかった京丹後市の良さにあらたな気づきを加え、持続可能な社会の発想をめざします。

プログラムは、1年間で4フェーズで構成し、毎年度内容の改善を図っていきます。



2. ワークショップの概要

ワークショップは、中学3年生（京丹後市立中学校に在籍）及び高校2年生（参加者または保護者が市内在住）を対象とし、ワークショップは英語を介して行います。

また、下記の方々にも参加していただく予定です。

●スタンフォード大学等の研究者（以下「研究者」）※アドバイス

●地元企業の関係者（デザインシンキングパートナー）（以下「DTP」）8名

STEM分野に係る地元企業等の関係者をDTPとします。

ワークショップで、それぞれの分野における良さや課題を中学生へ伝え、中学生がその課題に着目してまちの未来をデザインするサポートをします。

●現役大学生・大学院生のデザインシンキングコーチ（以下「DTC」）7名

STEM領域で学んでおり、英語と日本語のどちらも話せる現役大学生・大学院生。中学生が「デザイン思考」を学ぶとき、英語で行われるワークショップの進行等をサポートし、中学生と交わって議論を進めます。

(1) ワークショップ開催日時・場所・内容

ア 開催日時 令和7年8月4日（月）～8日（金）・9月6日（土）6日間
午前9時～午後4時30分

イ 開催場所 丹後・知恵のものづくりパーク（京丹後市峰山町荒山225）
※9月6日（土）のみオンラインでの開催

ウ 内容

・地元企業の協力で、京丹後市の良さと課題の抽出

職場見学やインタビュー等とおして、本物に触れる機会の創出。

・8月8日（金）（ワークショップ最終日）に英語でのプレゼンテーションを実施！
DTPへのインタビューやフィードバックを通して、プロトタイプを作り、最後にプレゼンテーションを行います。

・9月6日（土）はワークショップの振り返り（インタビュー）を実施

※プログラムの特性上、見学や報道は時間的な制限をかける予定としています。また、見学や報道の際には参加者との十分な距離をとって行ってください。取材については、別途時間を設ける予定です。スケジュールの詳細が決まり次第、別途お知らせいたします。

(2) 中高生の参加者募集の概要

ア 募集人数 京丹後市立6中学校に通う中学3年生 20名
高校2年生（参加者または保護者が市内在住） 8名

イ 応募資格 ①プログラムの全日程に参加できること
②以下の英語力を持つもの（資格については、実際に取得がなくともそのレベルの英語力を持っていれば応募可能としています。）
中学3年生：英語検定3級レベル
高校2年生：英語検定準2級レベル

ウ 応募期間 令和7年6月2日（月）まで

エ 応募方法 応募フォームより、参加意思申出書に係る内容及び作文を提出

オ 参加者の決定 申込書類と面接結果をもとに決定します

(3) 現役大学生・大学院生のデザインシンキングコーチの募集の概要

- ア 募集人数 7名
- イ 応募資格 ①英語と日本語の両方で中高生の学びをサポートできること
②STEM分野を専攻、または基本的な知識があること
③教育や人材育成に関心があること
④トレーニングを含むすべての日程に参加できること
- ウ 応募期間 令和7年5月30日(金)午後11時まで
- エ 応募方法 応募フォームより、必要事項を記入の上申込み
- オ 参加者の決定 1次選考(応募フォームの内容)及び2次選考(オンライン面接)により決定します

備考

※1 一般社団法人スカイラボ

- ・スタンフォード大学で博士号を取得し、シリコンバレーで子育てをしていた日本出身の女性たちが、教育や人文・社会科学といった自分たちの専門性を使って、STEM領域の男女格差を是正するために何かできないだろうかと、スカイラボを2016年に設立。
- ・スカイラボは、STEM STEM領域に、Liberal Arts リベラルアーツを加えたSTEAM教育により、次世代のイノベーション人材を育成する非営利団体。
- ・スカイラボでは参加者が学習する様子をデータとして収集・分析し、エビデンスベースの教育活動を実施しており、同プログラムの功績は下記のとおり。
 - * 2019年、内閣府 男女共同参画局 後援認定
 - * 2020年、内閣府「選択する未来2.0」有識者懇談会参加 (STEAM:21世紀の教育と人材育成)
 - * 2020年、公益財団法人日産財団主催「第5回リカジョ育成賞」準グランプリ受賞

※2 デザイン思考

徹底的にユーザーへの気持ちや感じ方に寄り添って発想するのがデザイン思考です。

デザイン思考では、数多くのアイデアを出してみる事、スケッチを書いたり、流れを紙に描いたり、プロトタイプ(模型)をつくったりすることを、とても大切にしています。思い付きを声に出してみ、手を動かして考えて、ひとまず目に見える形にしてみる。そうすると、もっとこうしたらいいかもしれない、という発見が見えてきます。それにさらなる改善や修正を施して、また、プロトタイプをつくってみる。

この繰り返しの中で、本当に人を中心に考えた製品や解決方法を編み出すことができるようになるのです。

<スカイラボHPより>

※3 STEAM及びSTEM教育

STEAM教育とは、「科学(Science)」「技術(Technology)」「工学(Engineering)」「芸術や表現(Art)」「数学(Mathematics)の5つの分野を組み合わせることで学ぶ、新しい学びのスタイルです。このうち「芸術や表現(Art)」を含まない4つの分野で学ぶものを、STEM教育といいます。どちらも、教科の枠をこえて考え、身の回りの問題を自分たちで解決する力を育てる学びです。

[問い合わせ先]

京丹後市教育委員会事務局学校教育課

担当：上田・戸田

TEL 0772-69-0620/FAX 0772-68-9061